

番号：131109

国名：ネパール国

担当：経済基盤開発部運輸交通・情報通信第三課

案件名：シンズリ道路維持管理運営強化プロジェクト中間レビュー調査（評価分析）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参団

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2014年1月中旬から2014年2月下旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.50M/M、現地 0.50M/M、合計 1.00M/M
- (3) 業務日数：

	準備期間	現地業務期間	整理期間
ネパール	5日	15日	5日

本業務においては、渡航の前後に国内準備期間及び整理期間を設けることを想定していません。現地業務期間等の具体的条件については、10. 特記事項をご参照ください。

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、場所

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：12月4日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス(e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出、
または調達部受付(JICA本部1F)への書類の提出
※2013年10月2日以降の公示案件(業務実施契約(単独型)のみ)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を試行導入します。提出方法等詳細については、JICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ)をご覧ください。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等
 - ①業務実施の基本方針 8点
 - ②業務実施上のバックアップ体制等 2点
- (2) 業務従事予定者の経験能力等
 - ①類似業務の経験 45点
 - ②対象国又は同類似地域での業務経験 9点
 - ③語学力 18点
 - ④その他学位、資格等 18点
 - ⑤業務従事予定者によるプレゼンテーション -点

注1) 類似業務：各種評価調査

注2) 対象国/類似地域：ネパール/全途上国

注3) 語学の種類：英語

5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：
本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めない。
- (2) 必要予防接種：なし

6. 業務の背景

JICAは技術協力プロジェクトの成果の達成状況の確認及び計画の見直しを目的として中間レビュー調査を実施している。本業務では、ネパール国「シンズリ道路維持管理運営強化プロジェクト」における中間レビュー調査（現地調査予定時期：2014年1月中旬～2月上旬）を実施し、プロジェクトの目標達成度や成果等を分析するとともに、プロジェクトの残り期間の課題及び今後の方向性について確認し、相手国側関係機関と合意することを目的とする。

案件の背景は以下のとおり。

ネパール国のシンズリ道路（国道6号線）（以下、シンズリ道路）は、我が国の無償資金協力により1996年7月に第1工区の橋梁工事が開始され、以来13年かけて第4工区、第2工区が建設され、2009年から残る第3工区の工事が着手されており、全線開通（総延長約160km）へ向け着実に建設が進められている。

例年、ネパール国は雨季になると厳しい自然条件に起因する斜面崩壊や土砂災害等により主要道路が寸断され、首都カトマンズへの物流が途絶える状況に見舞われている。このような状況は、シンズリ道路においても例外ではなく、土砂災害に対する配慮が十分になされているものの、予想を超える自然災害の影響から道路が通行不能となる事象が発生することが想定されている。そのような中、ネパール国の道路局（以下、DORという）では災害発生時に適切な道路復旧体制が構築されておらず復旧に時間を要する、災害発生や事故発生の記録が管理されていないなど、維持管理体制が十分に構築されておらず、災害対策に係る知識・経験も不足している。よって、災害に強い道路網整備を進めるための災害対策にかかる能力の強化が不可欠である。

さらには、シンズリ道路の維持管理は現在DORの外国援助部門が行っているが、建設が終了すると維持管理部門に体制が移行し、維持管理部門傘下の地方管理事務所が所管するため、技術の継承が課題となっており、効果的な体制構築とともに維持管理部門のさらなる能力強化が必要となる。

このような状況を受け、全線開通後のシンズリ道路における安全で円滑な道路交通を確保するため、斜面对策の実施方法や道路復旧など災害対策を含むシンズリ道路の運営維持管理の改善を目的としてJICAは2011年12月から2015年12月までの約4年間の予定で技術協力「シンズリ道路維持管理能力強化プロジェクト」を実施中である。現在、短期専門家（道路維持管理、道路防災計画1、道路行政、維持管理業務自立支援/道路防災計画2、組織・経済分析、交通安全/機材計画、資金計画、道路防災、斜面防災/環境社会配慮、情報・通信管理、業務調整/道路維持管理補助）が活動中である。

本中間レビュー調査では、C/Pと合同で本プロジェクトの目標達成度や成果等を分析するとともに、プロジェクトの残り期間の課題及び今後の方向性について確認し、合同評価報告書に取りまとめ、合意することを目的とする。

7. 業務の内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、「新JICA事業評価ガイドライン第1版」に沿って、プロジェクトの実施状況について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。

具体的担当事項は次のとおりとする。

1) 国内準備（2014年1月中旬）

- ①既存の文献・報告書等（業務進捗報告書、研修報告書、合同調整委員会議事録、活動実績資料等）をレビューし、プロジェクトの実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）や実施プロセスを整理・分析する。
- ②既存のPDMに基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価5項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法等を検討し評価グリッド（案）（和文・英文）を作成する。また、既存のデータ・情報と現地で入手・検証すべきデータ・情報とを整理する。
- ③上記の評価グリッド（案）に基づき、プロジェクト関係者（プロジェクト専門家、C/P機関、その他ネパール側関係機関、他ドナー等）に対する質問票（案）（英文）を作成する。
- ④国内で収集可能なデータを整理・分析する。

- ⑤対処方針会議等に参加する。
- 2) 現地派遣 (2014 年 1 月中旬～2 月上旬)
 - ①JICA ネパール事務所等との打合せに参加する。
 - ②プロジェクト関係者に対して、「新 JICA 事業評価ガイドライン 第 1 版」に基づいた評価手法について説明を行う。
 - ③上記 1) ②で作成し、C/P と協議した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票の回答を回収・整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績 (投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、実施プロセス等に関する情報・データの収集・整理を行う。
 - ④上記③で収集した情報・データを分析し、プロジェクト実績の貢献・阻害要因を抽出する。
 - ⑤国内準備及び上記③及び④で得られた結果をもとに、他の調査団員及び C/P 等とともに評価 5 項目の観点から評価を行い、評価報告書 (案) (英文) を取りまとめる。
 - ⑥調査結果や他の調査団員及び C/P 等からのコメント等を踏まえた上で、PDM 及び PO の修正案 (和文・英文) の取りまとめに協力する。
 - ⑦担当分野に係る評価報告書 (案) (英文) を作成する。
 - ⑧評価報告書 (案) (英文) に関する協議に参加し、協議結果を踏まえて同報告書 (案) を修正し、最終版の作成に協力する。
 - ⑨協議議事録 (M/M) (案) (英文) の作成に協力する。
 - ⑩ 現地調査結果の JICA ネパール事務所への報告に参加する。
- 3) 帰国後整理期間 (2014 年 2 月上旬)
 - ①評価調査結果要約表 (案) (和文・英文) を作成する。
 - ②帰国報告会等に参加する。
 - ③担当分野の調査結果を取りまとめ、中間レビュー調査報告書 (案) (和文) の作成に協力する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は (1) ～ (3) のすべてとする。

- (1) 評価報告書 (英文)
- (2) 担当分野に係る中間レビュー調査報告書 (案) (和文)
- (3) 評価調査結果要約表 (案) (和文・英文)

上記 (1) ～ (3) については、電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICA コンサルタント等契約見積書作成の手引き」 (<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) をご参照ください。また、航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含まず (見積を計上して下さい)。

10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

1) 現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2014年1月19日から2月2日です。当機構職員はこれに1週間遅れて2014年1月24日に現地入りします。

2) 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ・ 総括 (JICA)
- ・ 協力企画 (JICA)
- ・ 評価分析 (コンサルタント)

3) 便宜供与内容

当機構ネパール事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ① 空港送迎
あり
- ② 宿舎手配
あり
- ③ 車両借上げ
全行程に対する移動車両の提供（機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。）
- ④ 通訳備上
なし
- ⑤ 現地日程のアレンジ
現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ、プロジェクト専門家及びC/Pの同行

(2) 参考資料

本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイトで公開されています。

- ・ネパール連邦民主共和国 シンズリ道路維持管理強化プロジェクト詳細計画策定調査報告書

(3) その他

- 1) 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます（冒頭留意事項参照）。
- 2) ネパール国内での作業においては、JICA安全管理措置を遵守するとともに、JICA総務部安全管理室、JICAネパール事務所の指示に従い、十分な安全対策措置を講じることとする。
- 3) 現地の治安情勢の動向如何では、外務省の渡航情報（危険情報）を参照しつつ策定しているJICAの安全対策措置に基づき、中間レビュー現地調査実施予定時期に現地派遣を中止ないし日程調整等をする可能性があります。

以上